



草いぎれのなか、アサマシジミに近づくヒメシジミ（ともにオス）。両種の色調の違いがよくわかる
2016年6月7日 長野県 写真/清水敏道

CONTENTS

- 02 海野和男が語るチョウの魅力**
キベリタテハ
 - 04 チョウの生息域外保全**
 - 07 保全活動レポート**
アサマシジミ北海道亜種/北海道
ヒメチャマダラセセリ/北海道
 - 08 ウスイロヒョウモンモドキ
の生息域外保全の取り組み**
 - 12 博物館における昆虫標本の受け入れ状況**
—標本寄贈に関する準備と対策—
 - 16 ウスバシロチョウが消えた**
シカ害の現場からの報告・後編
 - 20 Action for Butterflies**
ウスイロヒョウモンモドキ
-
- 18 お知らせ①とBook紹介**
 - 24 お知らせ② (P.18のつづき) と事務局の動き**

チョウの舞う 自然

THE JAPAN BUTTERFLY
CONSERVATION SOCIETY
NEWSLETTER NO.23

日本チョウ類保全協会 会誌23号
Nov. 2016

表紙：ヤマキチョウ



全国的に減少が著しく、環境省のレッドリストでも絶滅危惧IB類に指定されている草原性のチョウ。成虫で越冬し、翌年の初夏にも顔を見せるが、近縁種スジボソヤマキチョウの越冬個体がひどく傷んでいるのに対して、ヤマキチョウは春でもきれいな翅のまま。晩夏には誕生したばかりの成虫が、コオニユリなどに訪花する。逆光での撮影が、翅の透明感をいっそう引きだした。
長野県木曾郡木曾町 2013年8月28日
写真・文/井上孝美